



# 災害対策の見直し

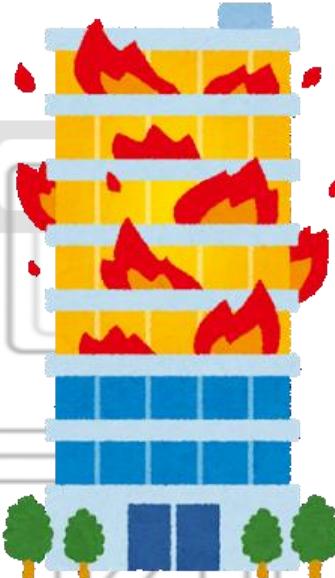
3階病棟  
杉浦 、服部 、池澤

# はじめに

変更前

変更後

- ・災害は「いつ起きてもおかしくないもの」。
- ・南海トラフ地震などの大規模災害が発生する可能性が指摘されている。「もしも」に備えた環境作りが重要なため、既存の災害対策を改めて、点検・見直した。



災害時は「初期対応」が何よりも重要とされているため「初期対応」についての見直しをメインに行った。

はじめに

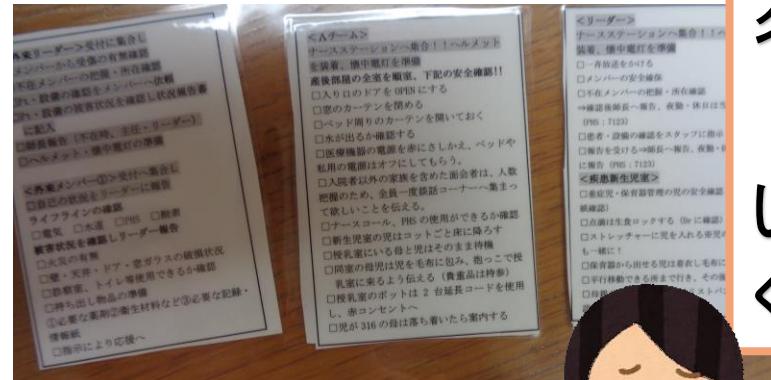
変更前

後

## アクションカード

- ・ 災害時の初期対応としては各自がすべき具体的な行動をまとめたアクションカードが活用される。
- ・ 看護部のアクションカードはあるが、幅広い年齢層が存在する3階病棟では不足があった。
- ・ 3階病棟独自のアクションカードは作成されていたが…

産婦人科・新生児がメインだったため  
新生児から高齢者までの幅広い年齢層に対応できていない



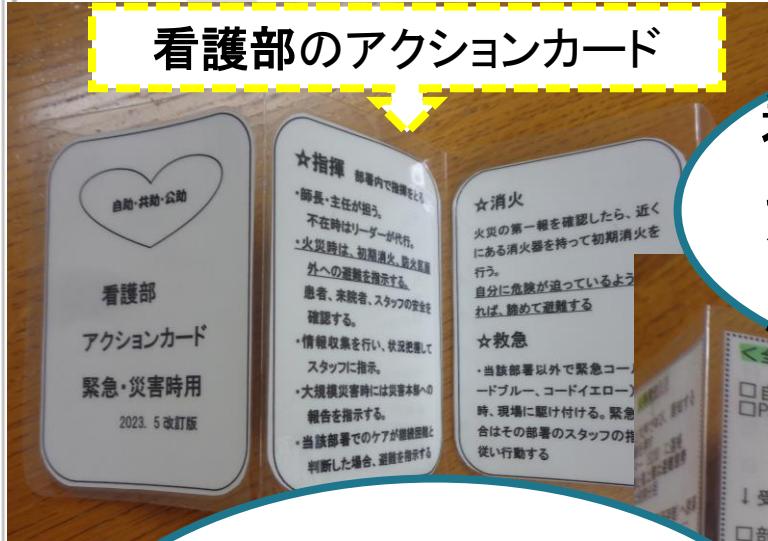
バラバラになる

名札に入るサイズで、コンパクトな所はいいけど、文字が小さくて見にくい

はじめに

変更前

変更後

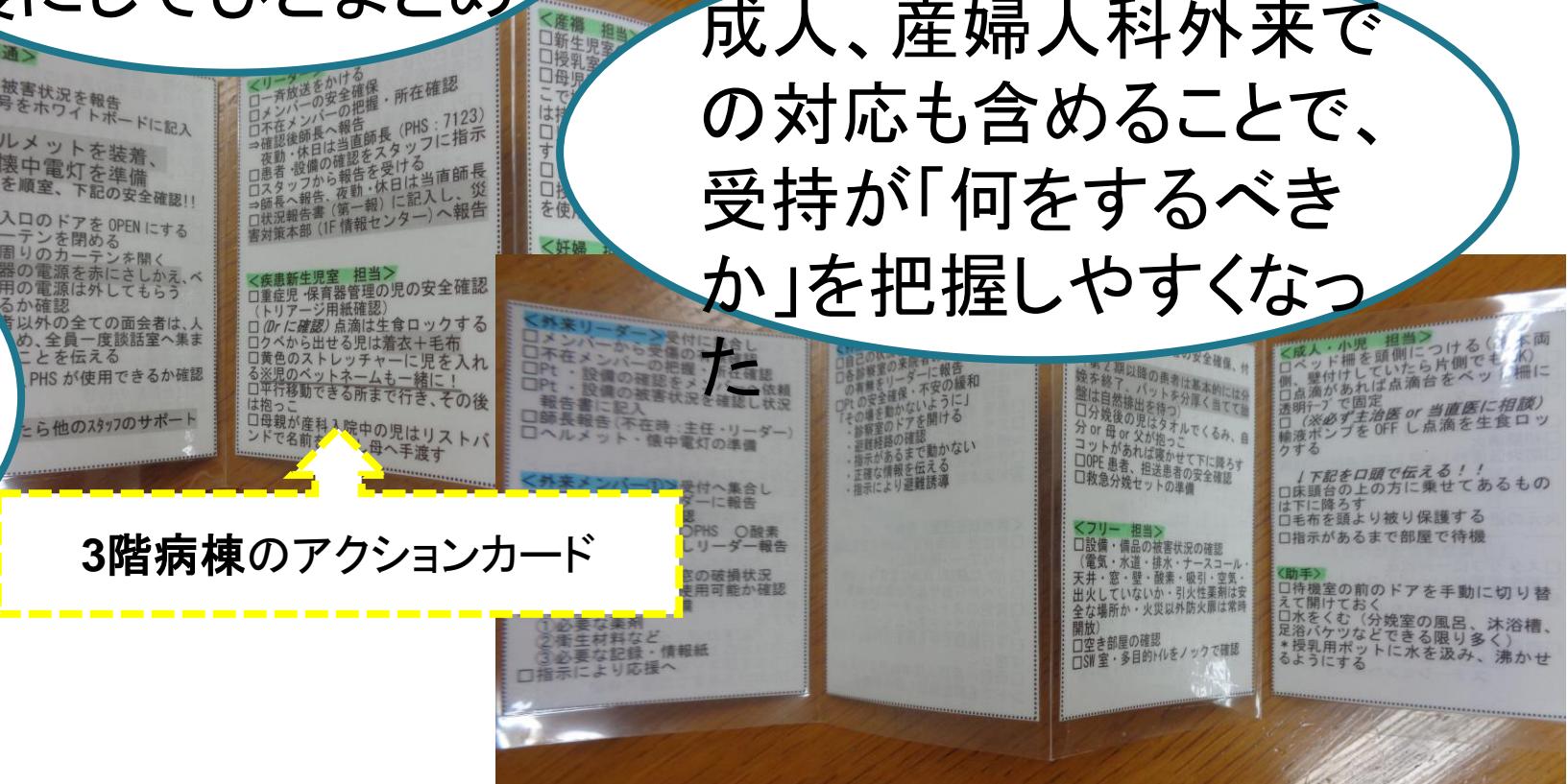


看護部のアクション  
カードを見習い、蛇  
腹にしてひとまとめ

看護部のアクション  
カードと同じ大きさに  
して、文字も大きく  
見やすくなつた



3階病棟のアクションカード



成人、産婦人科外来で  
の対応も含めることで、  
受持が「何をするべき  
か」を把握しやすくなつ  
た

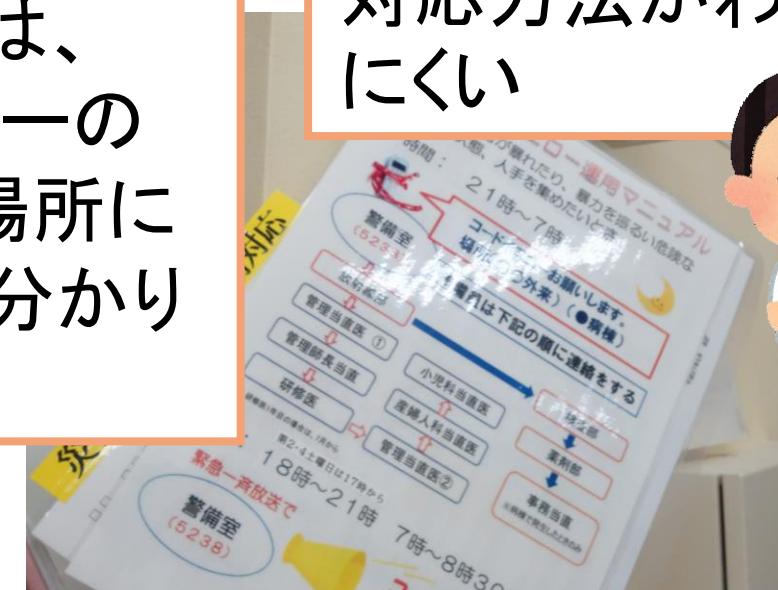


## 初期対応のマニュアル

- いざ災害発生時に行動がとれるよう初期対応の部分のみパウチしてあった。
- リーダーがスタッフがどこまで行えているか把握してあった。

『初期対応のマニュアル』は、コードイエロー・コードブルーの運用マニュアルと一緒に場所に掛けてあり、ぱッと見では分かりにくい

災害発生後から数時間経過した後の対応方法がわかりにくい

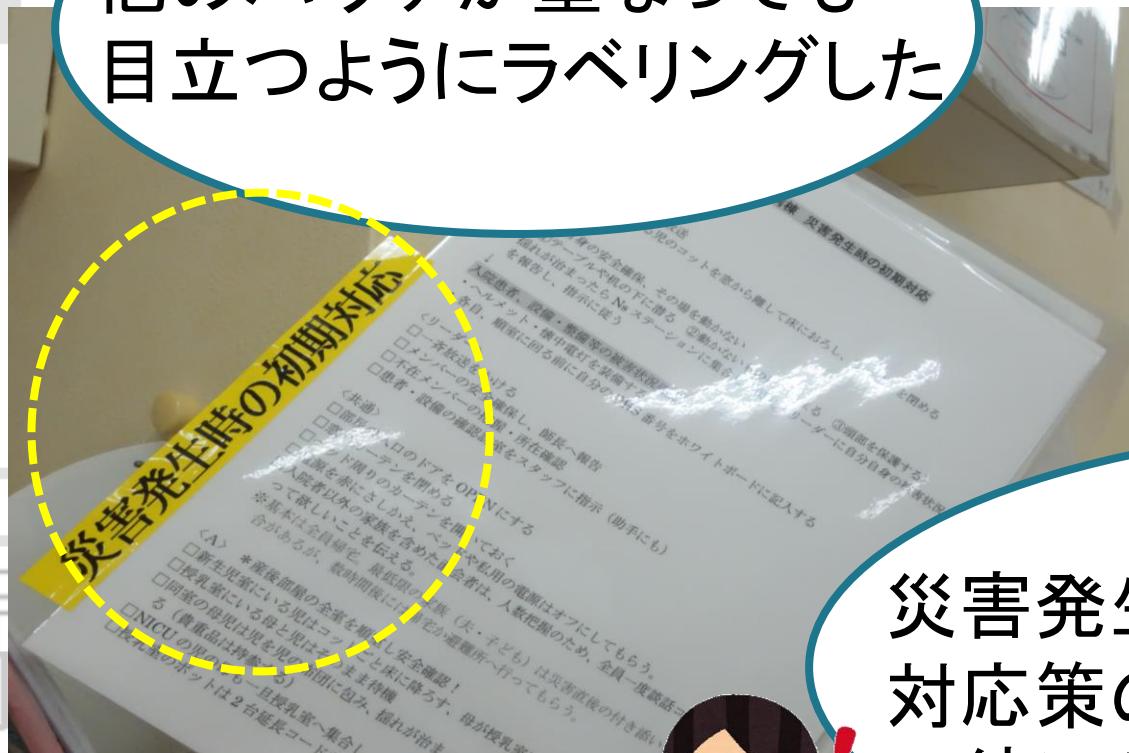


はじめに

変更前

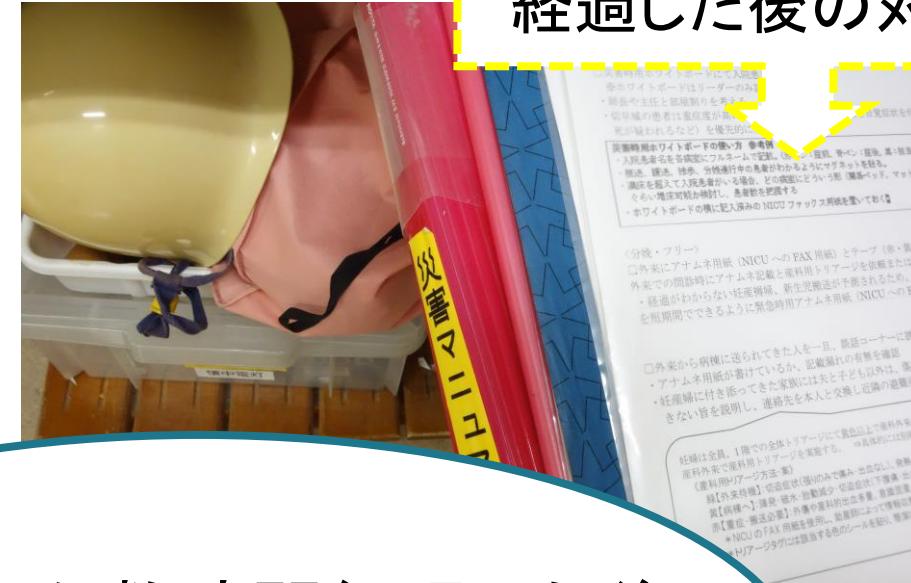
変更後

他のパウチが重なっても  
目立つようにラベリングした



災害発生から数時間経過した後の  
対応策のマニュアルを防災グッズと  
一緒にセットして確認しやすくした

災害発生から数時間  
経過した後の対応策



はじめに

変更前

ひと工夫

- 停電時、各病室のトイレの照明が着かない
- 必要時にコールしてもらえば良いがスタッフの人数も懐中電灯も数に限りがある

スタッフが普段から使用している各部屋の手袋やエプロン、ビニール袋を設置している場所に懐中電灯も設置

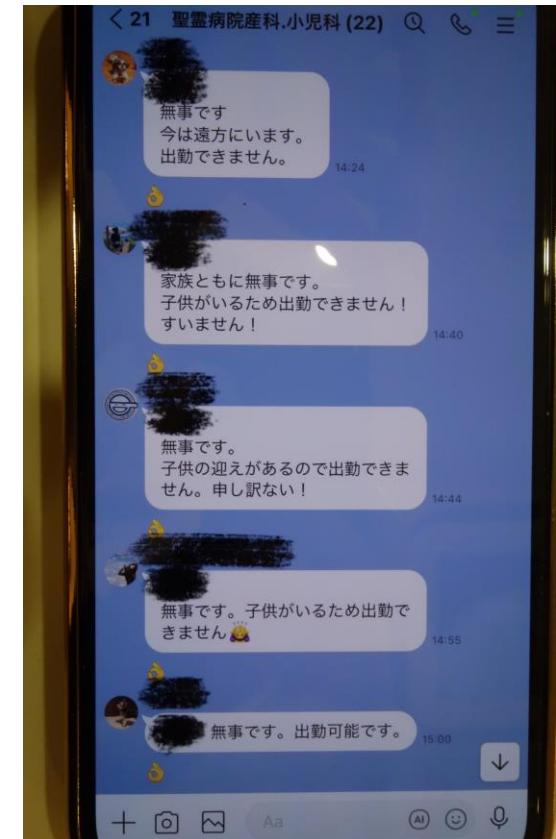
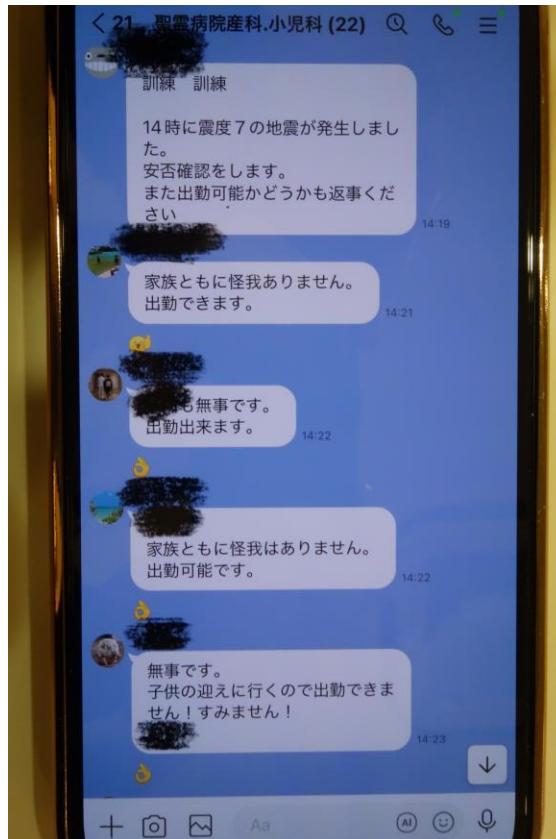


患者自身が使用したり、避難誘導をする際にスタッフが使用したりしやすいように各部屋に設置した

# シミュレーション

災害対応の変更後、活用できるか合同防災訓練時に確認を行った。

- LINEでスタッフの安否確認を実際に行った。



# シミュレーション



## 出来的点

- ・アクションカードを使用し各自の受持を巡回、対応することができた。
- ・外来担当スタッフもアクションカードを用いて対応でき、外来リーダーを通して病棟リーダーに報告・連絡・相談の連携がとれた。
- ・日中のシミュレーションだったため、懐中電灯は活用する機会がなかったが設置されていることは周知されていた。



## 再検討が必要な点

- ・「災害発生時の初期対応」のパウチはラベリングをして目立たせたが気づかれずに活用されなかった。
- ・初期対応数時間以内のシミュレーションだったため数時間後以降のマニュアルは活用されなかった。

# まとめ

- ・ 今回5S活動で実施した、災害対策の見直しだが初期の対応としては活用できていた。
- ・ 災害時用の備蓄している衛生材料の種類、量を見直す予定であったが、病棟閉鎖のため見直しではなく備蓄していた衛生材料を整理・片付けしていく。



目を通していただき、  
ありがとうございました

